

ひまわり

令和4年6月号

↓カラー版はこちらから



一点の^{いつわり}偽りもなく 青田かな ^{やまぐちせいし}(山口誓子)

校長 門脇 伸也

田んぼの稲が成長して、稲の葉先が風に揺れると、辺り一面がまるで海のように見渡す限りの青田です。ただ一か所も色の違うところのない光景が、目に浮かびます。「偽りもなく青田かな」は、その青さをたたえています。このような光景を子どもたちに見せたいものです。

さて、未だに新型コロナウイルス感染症予防対策は重要な課題ではありますが、特別支援学校としての本校の教育内容を前進させるには、待ったなしの状況です。休校や分散登校など学校での学びを止めないことはもとよりですが、全ての児童・生徒の可能性を引き出す授業改善や体験を重視する校外学習や修学旅行を計画通りに進めて行かなければなりません。

そして、国の進めるソサエティ 5.0 に基づき、一人ひとりに合わせた学習の在り方（個別最適な学び）と友達や様々な人と一緒に学ぶこと（共同的な学び）により、将来に渡って人生を豊かにする力を育成することが、学校として求められていくことです。新宿区版 GIGA スクール構想ではその具現化のために一人1台のタブレット端末が配布されています。児童・生徒があたかも文房具のように使いこなす中で、一人ひとりの学ぶ意欲が伸びることを支援するために授業改善、年間計画を進めてまいります。

こうした中で先日、中学部が四谷中学校の新苑学級と、小学部が西新宿小学校4年生とそれぞれに複数のタブレット端末を使用し、オンラインで学校間交流の活動を行いました。また、これから区内の小中学校との副籍交流も始める予定で準備を進めています。さらに、中学部の修学旅行が7月7日と8日に予定されています。日帰りの修学旅行ですが、1日目は横浜の臨海部施設見学、2日目は練馬区の農園で農業体験を計画しています。

これらの計画も、安全安心の確保があってこそその実施です。この点では、大きな視点で災害時を想定した「第3次学校安全の推進に関する計画」が令和4年2月7日中央教育審議会答申を踏まえ、令和4年3月25日（金）に閣議決定されています。令和8年までの5年間で全ての学校における実践的・実行的な安全教育を推進すること、地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育・訓練を実施することが求められています。今後、保護者の皆様と共に具体化していく必要があります。

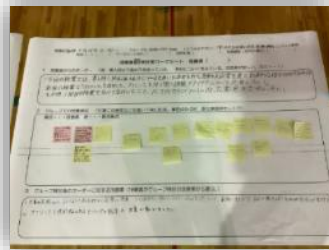
最後になりますが、今年も猛暑が予想されます。どうぞご自愛ください。



「ICTを活用した授業実践」

研究部

新宿区の教育課題研究校として、令和5年度の公開研究発表に向けた取り組みが始まりました。研究主題は「特別支援学校におけるICTを活用した言語能力の育成」です。現在の学習指導要領において、言語活動の充実、思考力、表現の育成が大切であることや、肢体不自由のある児童・生徒においては、特に「表現する力の育成」が重要であることが示されています。そこで、新宿養護学校では、「ICT機器の活用」に焦点を当て、昨年度までの「言語能力の育成を通した9年間の学びの積み重ね」と合わせて、学びの実践と推進を図っていくことにしました。研究日では、各学習グループでICT機器を活用した学習活動について検討を行い、児童・生徒の表現の困難さや、認知的な困難さを支援する使い方について、教員同士でアイデアを出し合っ、授業の改善に努めました。



小学部

6月8日(水)に半日校外学習で、新宿中央公園に行ってきました。梅雨ではありましたが、幸い天気にも恵まれ、過ごしやすい気候の中、神社を見学したり公園内を散策したりすることができました。子供たちは、公園内の様々な草花に注目したり、大きな木を見上げたり、「新宿白糸の滝」の水の流れの様子を見たりと、学校ではなかなか見ることができない景色を楽しんでいる様子でした。また、新しい学習グループになって初めての校外での活動となりました。近くにいる友達に自分から手を伸ばしたり、友達の車いすを押したりする友達同士での関わり合いも見られ、有意義な時間となりました。



「ボッチャ体験事業」

体育科

障害者スポーツへの興味・関心を高めることを目的として、6月10日に本校の体育館でボッチャ体験事業が行われました。

2021年に開催された東京オリンピック・パラリンピック競技大会のボッチャ日本代表監督の村上光輝氏が、昨年度に引き続き講師として、児童・生徒にボッチャ指導をしてくださいました。

今回は、「ライジング」という複数のボールの上にボールを乗せる技を教えていただきました。ランプをつかって、手でボールを押し、ボールが上に乗ることを喜んでいたり、ボールを投げて「ライジング」を成功させようと何回も挑戦したりする児童・生徒がいました。いろいろな投げ方で「ライジング」に挑戦し、成功すると教員と児童・生徒が共に喜び合うスポーツの素晴らしさを改めて感じたボッチャ体験事業でした。

